

ALBION WEB NEWS

アルビオンが沖縄の人材育成支援プログラムに協力 令和2年度内閣府「沖縄型産業中核人材育成事業」で 講座を開講

>>>2020. 11.27

株式会社アルビオン(東京・中央区、小林 章一代表取締役社長)は、令和2年度内閣府「沖縄型産業中核人材育成事業」内の機能性食品及び化粧品等製品開発力育成プログラムに参加し、自社の化粧品開発のこだわりや、生産技術、品質保証、営業などに関する講義を行い、ものづくりのビジネス事例を紹介しました。

沖縄型産業中核人材育成事業とは、内閣府の政策として、沖縄経済の発展に向けて、基盤企業の競争力を高め、付加価値の高いビジネスやサービスを生み出していく観点から、業界団体等が主体となって人材育成プログラムを開発し、県内企業の人材を対象に研修を行う事業として、平成29年から実施されています。本事業を通じて、県内企業の人材の抜本的な能力向上及び、継続的な人材育成、リーディング産業やものづくり産業等の経済の基盤となる産業全体の生産性向上を目指しています。

アルビオンは、東京農業大学 生物産業学部 食香料化学科(北海道・網走市 オホーツクキャンパス内、横濱 道成学部長)で国内唯一の「化粧品学」の寄附講座を行っている実績を評価され、この研修事業に化粧品学の講座を提供する形で参加させていただくことになりました。

- 講座:10月20日～11月27日(新型コロナウイルス感染拡大対策のためリモートでの実施)
- 施設見学(アルビオン白金教育センター):12月11日(予定)

講座は全20回で、いずれの講座もアルビオンで働く第一線のメンバーが講師にあたり、アルビオンの事例を挙げながら 実際の企業がどのように化粧品を生み出し、お客様の手元に届けるかを開発、生産、品質保証、営業など、様々な観点から話をしました。講座の最終回には代表取締役社長の小林が「経営論」として全体を総括し、企業のありかたや最高責任者としてどのように経営に携わっているかを講義しました。

アルビオンは、今後も様々な地域の生産者、企業、大学と化粧品の開発を通じてのつながりを持つ企業として、次世代を担う人材育成においても積極的な貢献・支援を行ってまいりたいと考えております。